

## 2021年度 発達支援つむぎ 宮下ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。  
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するに当たり安全な環境であるか。	4.17	ご利用者様が気持ちよくご利用できるように、日々の清掃を怠らず、整理整頓を心がけてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	4.17	職員一人ひとりがそれぞれのスキルをあげるとともに、学びの場を設け、専門性の向上に努めてまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.33	個々の休憩をきちんと確保できるように、適切な業務分担を行うなど配慮してまいります。
	Q5	ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	4.00	職員一人ひとりが働きやすい職場を目指し、日々の業務の振り返りを意識できるように努めてまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.50	アンケート調査を実施し、職員間で情報を共有し、業務改善につなげてまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	5.00	カフェスペースに掲示、他ホームページで公開しております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.83	第三者による外部評価は未実施ですが、内部監査を年に2回実施しており、法人のガイドラインに則った正しい運営を心掛けております。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.00	法人実施のスキル講座やWeb講座に参加する機会を設けたり、ルーム内研修を毎月実施し、スキルの向上に努めてまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		職員間の情報共有をこまめに行い、問題をその都度解決できるように努めていきます。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.67	職員の認識の統一をはかり、実用性のあるアセスメントツールを活用していくよう検討しております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.17	アセスメント後、しっかりと策定会議の時間を設け、個々のお子さまの現状から課題設定を見極め、支援計画につなげてまいります。
	Q14	グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.33	個別支援計画をもとに、目標に沿ったねらいが盛り込まれているか意識しながら、プログラムの実施に努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.83	今後も宮下ルームならではの体験や活動を提供できるように、職員それぞれのアイデアを持ち寄りながら、多彩な活動ができるように努めてまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.67	支援前の打ち合わせやお子さまの様子によって、臨機応変に対応できるように職員間の役割や動きについてしっかりと確認してまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.83	日々の支援の振り返りや、ケースの検討、連絡事項などをきめ細かく行い、より良い支援につなげてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.50	支援内容や保護者様とお話などはきちんと記録をし、情報を共有しながら支援にあたることを心掛けております。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	4.83	定期的なモニタリングを実施し、適用期間内に次期の個別支援計画が提示できるように今後とも努めてまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.33	児童発達支援ガイドラインに沿って、複数の活動を組み合わせながら支援に取り組むように努めてまいります。
	Q21	適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		
	保護者との係連携関係について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.33
Q23		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.67	関係機関連携加算の制度を説明し、所属園との連携を提案してまいります。
Q24		児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	4.33	協議会や連携会議に参加したり、他事業所との連携に努め、情報共有に努めてまいります。
Q25		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.50	セルフプランでの利用者様が多くいるので、多くの情報をお伝えできるように情報収集に努め、新しい情報を保護者様にお伝えできるように努めてまいります。

保護者との関係連携について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.67	地域の児童発達支援センターや専門機関と連携し、情報共有や助言を頂いております。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.83	近隣市の子ども部会などへの参加を積極的に行えるよう努めてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.83	併設園という環境のもと、子ども同士の関わり合いの中、成長できる機会をさらに充実させていけるよう努めてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	4.33	地域子育て支援センターと連携し、地域に開かれた環境設定や、イベントの企画、実施をしております。
	Q30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	3.50	外部講師を招いた研修や、保護者様へのペアレントトレーニングの開催についても検討しております。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.83	安心してご利用いただけるよう、契約時には丁寧にわかりやすい説明を心がけております。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.83	その都度、保護者様のご相談に応じております。場合によっては「事業所内相談支援加算」の制度を利用し、しっかりと面談を実施しております。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.67	コロナ禍という状況で、保護者会等のイベントの実施が行えていませんでした。今後、WEBを使ったり、配慮した形で実施していけるように企画しております。
	Q35	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.17	ご意見を頂いた際は、早急に職員間で共有し、真摯に対応させていただきます。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.17	告知に関しては、配布文書や掲示をしております。活動報告に関してはブログでも掲載しております。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎているかなど)	4.67	日々の支援の振り返りの中で、相手にわかりやすく伝えることができるよう努めてまいります。
	Q38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	4.67	PCは各個人ログインIDとパスワードがあり、他人が開くことができない仕様になっております。個人記録は鍵付きの書庫に保管しております。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.67	毎日、朝礼と夕礼で情報共有を行っております。業務日報への記載もしっかり行い、確認するように努めてまいります。
	Q40	保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.00	法人共通の各種マニュアルがございます。園内研修で定期的に読み合わせてロールプレイングを行うなど緊急時に混乱せずに対応できるように努めてまいります。
	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.33	月1回、保育園と合同で、様々な状況を設定しての避難訓練をおこなっております。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.00	職員研修を実施し、一人ひとりの意識を高めてまいります。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.50	ヒヤリハット報告書に記録し、共有を行っております。様々な場面でのヒヤリハットに気付き、けがや事故につながることはないよう、お子さまが安全に活動できるように努めてまいります。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		今年度もコロナ感染という非常事態がありました。非常時の対応について再度見直し、安心安全にご利用いただけるよう努めてまいります。
満足度について	Q46	利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.50	お子さまが楽しく通っていると多数のご意見を頂戴いたしました。今後も一人ひとりのお子さまに寄り添った温かい支援が提供できるように、精進してまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することができるか。	4.33	日々の支援を通じて、子どもたちの成長を感じるエピソードや場面を保護者と共有し、ともに喜べるように今後も努めてまいります。また成長の軌跡を客観的にも検討し、児童発達支援事業全体の質の向上へつながるように努めてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		